

教科	科目
国語	国語総合
単位数	必履修・選択(枠)
4単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 国語の基礎・基本となる内容を身につける。また、日常の言語事象や社会に目を向け、学んだことを活かす態度を養う。

授業形態… 一斉授業・グループ学習・発表

年間授業計画	
4月 5月 6月	【現代文(随筆, 小説)】: 本文を音読したり, 辞書を引いたりして内容を理解する。主語と述語や心情表現を理解する。 【学び直し(R国語)】: 中学校で学ぶ語句・漢字・文法を再度確認し, 国語の学習の基礎を身につける。
6月 7月 9月	【現代文(評論, 詩)】: 筆者の考えを読み取ったり, 作者の心情を想像したりする。評論文のテーマについて自分の考えを書く。 【古典(古文入門)】: 歴史的仮名遣いの文章を音読する。現代との共通点を読み取り, 古文を身近に感じる。
10月 11月 12月	【現代文(小説)】: 登場人物の置かれている状況と心情を読み取り, それを話し合いを通して深める。 【学び直し(R国語)】: 中学校で学ぶ語句・漢字・文法を使って作文を書く。
12月 1月 3月	【現代文(短歌・俳句, 評論)】: 表現を味わう。自分の思いを込めて歌を作ったり, 詠んだりする。段落ごとの内容を簡潔にまとめる。 【古典(漢文入門)】: 訓点のある漢文を音読する。日本に残る中国の文化に触れ, 漢文を身近に感じる。

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	様々な文章を通し, 国語の基礎・基本となる知識を身につけようとしている。 授業への取り組み, ノート, ファイル
思考・判断・表現	登場人物の心情を考えたり, 要点を読みとり自分の考えを表現している。 定期考査, 授業への取り組み, ノート, ファイル
技能	学習内容と日常の言語事象を重ねて考えることができる。 定期考査, 小テスト
知識・理解	国語の基礎基本を理解し, その知識を活かして文章を読解することができている。 定期考査, 小テスト

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

使用教材等

教科書…三省堂『明解国語総合改訂版』
副教材…東京書籍『新総合 図説国語』
旺文社『国語辞典』

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
地歴	地理A
単位数	必履修・選択(枠)
3単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 世界の諸地域について理解を深め, 世界と日本の関係について考察する力を養う。

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月 5月 6月	【地球儀や地図でとらえる現代社会】 経度・緯度など地図の基本的な見方や, 時差計算の基礎を身に付ける。また, 国家の領域について理解する。
6月 7月 9月	【世界の人々の生活を取り巻く地理的環境】 様々な地形・気候の特徴を理解し, 地域による違いや生活・産業との関わりについて考察する。
10月 11月 12月	【世界の諸地域の生活・文化と環境】 地理的事象と生活・文化との関わりについて, 地域ごとに探求する。
12月 1月 3月	【私たちが直面する地球的課題】 環境問題, 資源・エネルギー問題, 領土・民族問題など, 現代の諸課題について考える。 【自然環境と防災】 地域防災について考える。

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	世界のさまざまな地理的事象についての関心を高め, 意欲的に探究しようとしている。 授業中の取り組み, ノート, ワークシート
思考・判断・表現	地理的事象や諸課題について, その背景をさまざまな角度からとらえ, その考えを表現している。 定期考査, 授業中の取り組み・発表, ノート
技能	地図や統計・図表などの資料から情報を読み取ったり, 自分でまとめたりすることができる。 ワークシート, ノート, 課題
知識・理解	世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけている。 定期考査, 小テスト

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書…第一学習社『高等学校 新版 地理A
世界に目を向け, 地域を学ぶ』
帝国書院『新詳高等地図』

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
数学	数学 I
単位数	必修・選択(枠)
4単位	1年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 基本的な知識と技能を身に付け、事象を数学的に考察する力を培う。数学のよさを理解するとともに、それらを活用する態度を養う。

授業形態… 少人数制による一斉授業

年間授業計画	
4月	R数学(小中学校の学び直し)・数と式 数の基本概念を理解し、式の処理の仕方を学ぶとともに、1次不等式を活用できるようになる。
5月	
6月	2次関数 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて事象の考察に活用できるようになる。
9月	
10月	三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いて事象の考察に活用できるようになる。
12月	
12月	集合と論理・データの分析 集合と命題に関する基本的概念を理解する。統計の基本的な考え方を理解し、それを用いてデータを整理・分析できるようになる。
3月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	数学に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとしている。 出席、授業への取り組み、ノート
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返ることができる。 授業への取り組み、ノート
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 定期考査、小テスト
知識・理解	基本的な概念・原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 定期考査、小テスト

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

使用教材等

教科書…実教出版「高校数学 I 新訂版」
副教材…実教出版「ステップノート 数学 I」

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
理科	化学基礎
単位数	必修・選択(枠)
2単位	1年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 物質の構造や成り立ち、各種化学反応についてその特徴や表し方を化学的視点から学習する。あらゆる分野に日常的に関連している化学を通して、科学的な見方や考え方を養う。

授業形態… 一斉授業、実験

年間授業計画	
4月	物質の探求 化学と人間生活とのかかわりについて関心を高め、化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解する。
5月	
6月	物質の構成粒子 物質を構成している粒子を学び、原子、分子、電子などの原理や構造を理解する。観察実験を通じて科学的な思考を身に付ける。
9月	
10月	物質と化学結合・物質と化学変化 イオン結合、共有結合、金属について学習する。分子量や物質質量などの量的関係を理解する。物質を探求する力を身に付ける。
12月	
12月	酸と塩基・酸化と還元 酸と塩基の反応及び酸化還元反応について学習し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようになる。
3月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	日常生活と関連づけて物質の変化に関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 出席、授業への取り組み、授業プリント
思考・判断・表現	化学のルールに則って化学の事象を記号などを用いて表現することができる。 定期考査、小テスト、授業プリント
技能	実験や観察に必要な理科学的な技術技能を習得するとともに、結果を的確に記録、整理できる。 実験、観察の取り組み、実験レポート
知識・理解	物質とその変化について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 定期考査、小テスト

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書…東京書籍「改訂新編化学基礎」
経費…ファイル代

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
保健体育	体育
単位数	必履修・選択(枠)
2単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わう態度を養う。

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月 ∩ 6月	バレーボール(男女) 集団競技の特性を生かし、仲間とのコミュニケーションや声かけなどの態度を養う。実技においては、3段攻撃を理解し、実践できる能力を身につける。
6月 ∩ 9月	水泳(男女)では、クロール(自由形)で長い距離を泳ぐ力を養う。バスケットボール(男子)ではゲームを自分たちで運営できるようにする。バドミントン(女子)では基本的な技術を身につけ、ゲームができるようにする。
10月 ∩ 12月	柔道(女)では基本的な受け身の技能、固め技、立ち技を身につけ、対戦できる力を身につける。 サッカー(男子)は、自分たちで審判などを行い、ゲームを運営できるようにする。
12月 ∩ 3月	柔道(男子)は、基本的な受け身、固め技、立ち技を習得し、乱取りや試合形式ができるようにする。 フットサル(女子)は基本的なルールを理解、キックやトラップなどの基本技能を身につけ、ゲームを行う。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	運動の楽しさ喜びを味わうために意欲的に活動し、健康や安全に配慮できる姿勢を持っている。
	出席、授業への取り組み
思考・判断・表現	体力や技能を高めるために運動を計画的に工夫している。
	授業への取り組み
技能	運動の実践を通じて、段階的な技能を身につけている。
	実技試験
知識・理解	運動の技術の名称や行い方を正しく理解し、効果的な練習を工夫している。
	実技試験

考查点と平常点の割合

考 査:実技4割 平常点:6割

使用教材等

教科書…大修館書店「最新高等保健体育改訂版」

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
保健体育	保健
単位数	必履修・選択(枠)
1単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月 ∩ 6月	・私たちの健康のすがた ・健康のとらえかた ・さまざまな保健活動 ・生活習慣と日常生活行動 ・喫煙と健康 以上の単元において自己の健康について考え、現在や未来の生活を意識できるようにする。
6月 ∩ 9月	・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・医薬品と健康 ・感染症とその予防 ・エイズとその予防 ・健康にかかわる意志決定、行動選択 以上の単元において、健康に関わる知識を学び、正しい行動を選択できるようにする。
10月 ∩ 12月	・欲求と適応機制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処 ・自己実現 ・交通事故の現状と要因 以上の単元において、自己の内面の健康について留意しながら生活を送ることができるようにする。
12月 ∩ 3月	交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 日常生活において交通安全をいろいろな視点で捉え、将来の生活に役立てる。また応急手当について学び実践できるようにする。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	現代社会と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとするか。
	出席、授業への取り組み
思考・判断・表現	現代社会と健康について課題の解決を目指して総合的に判断できる力を培う。
	授業への取り組み 課題プリント等への取り組み
技能	基本的生活習慣を身につけている。
	出席、授業への取り組み
知識・理解	現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	定期考査

考查点と平常点の割合

考 査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書…大修館書店「最新高等保健体育改訂版」

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
芸術	音楽 I
単位数	必履修・選択(枠)
2単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 音楽の仕組みや起源、その変遷に触れ、知識・表現を養い、自分で思考、選択できる力を身に付け、音楽を生涯にわたって生活や社会に繋げる。

授業形態… 一斉授業・グループ活動

年間授業計画	
4月 ↓ 6月	・校歌の歌詞について学び、歌詞に込められる想いを感じながら歌う。 ・J-POPや合唱曲を歌い、それぞれのよさを学ぶ。
6月 ↓ 9月	・日本歌曲を曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりについて学びながら歌う。 ・身近なものを使って楽器を作り、5つのリズムの中から楽器の特徴を生かしたリズムを演奏する。
10月 ↓ 12月	・歌舞伎について学び、音楽がどのような役割なのか、どのような特徴があるのかについて学ぶ。 ・篠笛の楽器の構造、奏法を学び、簡単な曲を演奏する。
12月 ↓ 3月	・音符と休符について学び、それらを使ったリズムをボディパーカッションで演奏する。 ・ギターの種類、構造、奏法について学び、簡単な曲の旋律やコードを演奏する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	音楽に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に意欲的に取り組もうとしている。
	出席、授業への取り組み、ファイル
思考・判断・表現	音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るか表現意図をもっている。
	プリント、実技試験、練習の取り組み
技能	必要な技能(奏法、呼吸法、姿勢、読譜の仕方など)を身に付けている。
	実技試験、練習の取り組み
知識・理解	音楽を形づくっている要素を知覚したり、楽曲の背景や作曲家の特徴などを理解している。
	実技試験、定期考査、プリント

考査点と平常点の割合

考査:4割 平常点:6割

使用教材等

教科書…教育出版『高校音楽 I 改訂版 Music View』

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
外国語	英語会話
単位数	必履修・選択(枠)
2単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 中学で学習したことを土台として、標準的な英語力の習得を目指す。特に英語の「話す」に重点を置く。

授業形態… 一斉授業、ペアワーク

年間授業計画	
4月 ↓ 6月	自分や友達を紹介しよう。聞き返す。挨拶する。意味を尋ねる。許可を求める。相手について尋ねる。答える。
6月 ↓ 9月	好きなことについて話し合おう。意見を言う。リストアップする。興味・関心を伝える。誘う・誘いを断る。
10月 ↓ 12月	食べ物や健康について話し合おう。許可を求める。説明する。同情する。事情を理解する。助言する。
12月 ↓ 3月	自分の住む町と伝統文化について話し合おう。描写する。予定を尋ねる。習慣を尋ねる。説明する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	「話すこと」の言語活動を積極的に取り組んでいる。
	出席状況、授業や提出物への取り組み
思考・判断・表現	語句や活用法などの知識を用いて正しく英語で表現している。
	定期考査、発表、会話、プレゼンテーション
技能	辞書を活用して正しい英文を構成している。
	資料の読み取り
知識・理解	文構造や語句、語法などに関する知識を正しく身につけている。
	定期考査、小テスト

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割(出席・提出物・小テスト)

使用教材等

教科書…東京書籍『Hello there! English Conversation』
副教材…三省堂『エースクラウン英和辞書』

進路・資格等

卒業後の進路…進学・就職等の必須科目

関連資格…実用英語技能検定

教科	科目
外国語	コミュニケーション英語基礎
単位数	必履修・選択(枠)
3単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 中学で学習したことを土台として、標準的な英語力の習得を目指す。英語の4技能をバランスよく身につける。

授業形態… 少人数制による一斉授業・ペアワーク

年間授業計画	
4月 ∩ 6月	基礎力養成講座(R-英語) 中学校で習った基本的な英単語・英文法の復習を行い、高校での英語学習の基礎を作る。
6月 ∩ 9月	Lesson 1, 2, 3 be動詞や様々な一般動詞を学習し、その意味を理解するとともに、人称に応じた活用を習得する。
10月 ∩ 12月	Lesson 4, 5, 6 助動詞、進行形、be動詞・一般動詞の過去形、不定詞について学び、助動詞を用いた多様な表現と時制に応じた表現を身につける。
12月 ∩ 3月	Lesson 7, 8 受け身・動名詞について学び、自分と他者の関わりに応じた表現を身につける。現在完了を学び、過去に遡った動作を表現する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
	出席状況、授業や提出物への取り組み
思考・判断・表現	各パートの内容を読み取り、簡潔にまとめて話したり、書いたりできる。
	定期考査、発表、会話、プレゼンテーション
技能	辞書を活用して正しい英文を構成している。
	資料の読み取り
知識・理解	文構造や語句、語法などに関する知識を正しく身につけている。
	定期考査、小テスト

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割(出席・提出物・小テスト)

使用教材等

教科書…三友社『JOYFUL English Communication Basic』
副教材…三省堂『エースクラウン英和辞書』

進路・資格等

卒業後の進路…進学・就職等の必須科目

関連資格…実用英語技能検定

教科	科目
家庭	家庭総合
単位数	必履修・選択(枠)
2単位	1年次必履修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 家族、福祉、衣食住、消費生活等に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得する。

授業形態… 一斉授業・実習

年間授業計画	
4月 ∩ 6月	・青年期の生き方を考えるとともに、家族・家庭の意義や社会とのかかわりについて理解する。 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。
7月 ∩ 9月	・着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて理解する。 ・衣生活に必要な知識と技術を習得し、安全と環境に配慮して、主体的に衣生活を営むことができるようにする。
10月 ∩ 12月	・エプロンを制作を通し、基礎的な知識と技術を習得する。
1月 ∩ 3月	生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任などについて理解し、現代の消費生活の課題について認識する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	家族、衣生活、消費生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。
	出席状況、授業や課題等への取り組み
思考・判断・表現	自分の生活について見つけ、課題を見いだしたり解決しようとしている。
	定期考査、課題提出、発表、評価カード
技能	家庭生活の実践にあたり、必要な技術を身に付けている。
	実習、作品提出、評価カード、課題提出
知識・理解	家庭生活の実践や生活向上のために必要な知識を身に付けている。
	定期考査、課題提出

考査点と平常点の割合

考査:6割程度
平常点:4割程度(作品、出席、態度、意欲、身だしなみ)

使用教材等

教科書…東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』
副教材…教育図書『トータル・データ 家庭科ガイドブック』
経費…教材費として2,000円を徴収する。

進路・資格等

卒業後の進路…進学・就職等の必須科目

関連資格…特になし

教科	科目
情報	社会と情報
単位数	必修・選択(枠)
2単位	1年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 現代社会におけるコンピュータの役割の重要性に気づくとともに、情報活用能力を向上させる。

授業形態… 一斉授業・実習

年間授業計画	
4月 5 6月	・タイピング練習を行い、ブラインドタッチができるようになる。 ・ワードソフトを使った文章作成技術を習得する。
6月 7 9月	・表計算ソフトの機能を理解し、使いこなせるようにする。 ・著作権、肖像権について学習する。
10月 11 12月	・HTML言語を学び、自分で簡単なホームページを作成することができるようになる。 ・情報モラルを身につける。
12月 1 3月	・プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を身につけ、発表用コンテンツをつくり、プレゼンテーションを行う。 ・コンピュータネットワークの仕組みを理解する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	コンピュータソフトの使い方の習熟度を上げるとともに、ハードウェアのしくみに関心を持っている。 出席, 授業への取り組み, 課題
思考・判断・表現	自分なりのテーマをみつけ、発表用のコンテンツをつくることことができる。 プレゼンテーション
技能	文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトを使いこなすことことができる。 実技試験
知識・理解	情報機器の基本的な仕組みを理解している。 情報モラルを身につけている。 実技試験, 定期考査

考査点と平常点の割合

考査:6割

平常点:4割(課題, 態度, 出席, 身だしなみ)

使用教材等

教科書…東京書籍「社会と情報」

副教材…実教出版「ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3・4級」

実教出版「30時間でマスターExcel2016」

進路・資格等

卒業後の進路…すべての進路

関連資格…ビジネス文書実務検定3級～1級